

令和3年度「脱炭素×復興まちづくり」FS委託業務 採択結果

代表業務責任者 (括弧内は共同実施者を記載)	業務名・業務概要	主な調査対象地域
<p>EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 (株式会社バイオマスレジン福島) (株式会社スマートアグリ・リレーションズ) (相馬ガスホールディングス株式会社)</p>	<p>浪江町におけるバイオマスレジン製造プラント等へのグリーン水素※1供給等に係る実現可能性調査</p> <p>バイオマスレジン製造プラントや農業機器及び公共施設等を対象に、地域のグリーン水素や再生可能エネルギー等へのエネルギー転換に向けた実現可能性に係る調査及び検討を行う。</p> <p>※1:「グリーン水素」とは、水を電気分解し、水素と酸素に還元することで生産される水素を指す。電気分解のために、太陽光等の再生可能エネルギーを利用することで、副産物としてのCO2を排出しない水素製造が可能。</p>	<p>福島県双葉郡浪江町</p>
<p>株式会社エイブル (株式会社東京久栄) (国立大学法人東京大学生産技術研究所) (株式会社九電工)</p>	<p>浪江町請戸漁港における波力発電に係る実現可能性調査</p> <p>浪江波力発電所(200kW/基×3基)の設置(社会実装)を見据え、定格出力を200kWにするためエネルギー変換装置及び海洋構造物に係る詳細設計等、波力発電装置の海域設置等に係る調査及び検討を行う。</p>	<p>福島県双葉郡浪江町</p>
<p>清水建設株式会社 (株式会社JEMS) (株式会社マイファーム)</p>	<p>大熊町における櫛栽培を想定した営農型太陽光発電に係る実現可能性調査</p> <p>太陽光パネル下で、櫛栽培を長期(15年間以上を想定)にわたり営農するための栽培システム構築や、多様な担い手を想定した安全な就労環境に資する各種IoT技術(ウェアラブルデバイス及びそれらの情報を統合するシステムを想定)の検討を通じた、営農型太陽光発電に係る調査及び検討を行う。</p>	<p>福島県双葉郡大熊町</p>

代表業務責任者 (括弧内は共同実施者を記載)	業務名・業務概要	主な調査対象地域
<p>株式会社鈴木商館 (トヨタ自動車株式会社) (株式会社豊田自動織機) (日本環境技研株式会社)</p>	<p>福島県浜通り地域<sup>※2</sup>における安価な水素供給モデルの実現可能性等に係る調査</p> <p>復興事業や工場・物流等でも用いられる産業車両や建設機械等、地域でのニーズが高く、BEV<sup>※3</sup>化が困難で多様なモビリティのFC化及びその導入ポテンシャルや、安価な水素供給モデルの実現可能性を調査するとともに、自立可能性のある脱炭素事業モデル(需給バランスが成り立つ水素サプライチェーンを想定)の事業スキーム等について検討する。</p> <p>※2:ここで、「福島県浜通り地域」とは、福島県田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の12市町村を指す。 ※3:「BEV」とは、「Battery Electric Vehicle」の略で、バッテリー式電気自動車を指す。</p>	<p>福島県浜通り地域</p>
<p>株式会社野村総合研究所 (郡山観光交通株式会社) (株式会社孫の手) (一般社団法人食大学)</p>	<p>浪江町における脱炭素ツーリズムに係る実現可能性調査</p> <p>脱炭素・水素利活用に係る観光・教育プログラムの策定及びCO2を排出しないFC<sup>※4</sup>車両(主にキッチンカーを想定)の開発を通じた観光事業のモデル構築及びそれに伴う事業性に係る調査及び検討を行う。</p> <p>※4:「FC」とは、「Fuel Cell」の略で、燃料電池を指す。</p>	<p>福島県双葉郡浪江町</p>

※五十音順に記載。以上は、提案時の事業概要であり、個別の調査項目等は委託元の環境省との協議により変更される可能性がある。